

やわた

八幡湿原は広島県山県郡北広島町の八幡地区にあり、周りを1,000m級の山々に囲まれた標高800mの高地にあります。年平均気温は10℃前後と低く、年間降水量は2,400~2,600mmと中国地方でも最も多い地域です。また、冬の寒さも厳しく、広島県では最も雪の多い地域で、2mあまりの積雪があります。

しばき

霧ヶ谷湿原は八幡湿原の一つに含まれる、柴木川最上流部にある湿原で、高原の自然館と二川キャンプ場の間に位置します。



芸北 高原の自然館

八幡湿原を再生するための調査・研究、八幡湿原周辺で自然観察会を開催しています。

〒731-2551
 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1
 TEL/FAX:0826-36-2008
 staff@shizenkan.info
 http://shizenkan.info/



湿原観察のマナー

湿原には入らないで

乾燥した草原とは違い、湿原はとてもデリケートです。一つの踏み跡が元に戻るまで数十年かかるとも言われています。写真を撮るときにも湿原を踏みつけないように気をつけましょう。

生き物をとらないで

湿原の生き物は全てつながりをもって生活しています。マアザミをヒメシジミの幼虫が食べ、ヒメシジミを小鳥が食べます。全ての生き物の死骸は微生物に分解され、植物の栄養となります。どの生き物が欠けても困るのです。湿原にすむ一つひとつの生き物を大切にしましょう。

生き物を持ちこまないで

外から湿原に生き物を持ち込むと湿原の生き物のつながりが壊れてしまいます。生態系のバランスを保つために、湿原に植物を植えたり、動物を持ち込まないようにしましょう。

八幡湿原自然再生事業ホームページアドレス

自然再生事業のより詳しいことは、自然再生事業のホームページをご覧ください。最新情報や、より詳しい内容が分かります。

<http://www.yawatashitsugen.jp/>

八幡湿原自然再生協議会事務局

〒730-8511
 広島県広島市中区基町10-52
 広島県環境部自然環境保全室内
 TEL:082-513-2931 FAX:082-227-4815
 kanshizen@pref.hiroshima.jp

〔写真提供〕斎陽（霧ヶ谷湿原）、白川勝信（表紙、高原の自然館、産卵調査、千町原の草刈り）、尾崎谷湿原、マアザミ、オタカラコウ）
 広森幹一（カラフトゴマフトビケラ）
 カキツバタの里づくり実行委員会（カキツバタ祭り）

（敬称略、五十音順）

